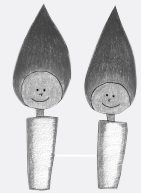


- 平成 26 年 9 月

浄照寺だより 秋彼岸号

いち どう 一 道 を歩む あゆ

真宗大谷派 應永山 浄照寺
〒947-0101
新潟県小千谷市片貝町 6320
tel 0258-84-2046 tel 0258-84-2043
<http://o-jyosyoji.com>



▶ 秋が深まってきました。
お風邪など召され
ませんように…

- 年間行事予定 -

- ◆1月1日・2日
修正会
- ◆3月21日
春季みのりの会
- ◆4月8日
花まつり
- ◆4月20日・21日
お取り越し
- ◆8月1日・2日
盆参
- ◆8月初旬
暁天講座
- ◆9月23日
秋季みのりの会
- ◆11月1日
感謝法要(帰敬式)

住職の法話

片貝祭りも終わり、秋のお彼岸を迎え、また寒い冬を迎える季節となりました。来年はいよいよ三条教区の親鸞聖人の七百五十回御遠忌が五月十九日から二十四日迄勤まります。私共の先祖でもない方の七百五十回忌を勤める事の意味は何処にあるのでしょうか？私共は自分と一番近い事や人だけを大事に考えがちですが、その私という存在自体が私の思いを超えたところに在ることにまで思いが及ばない現実があります。日頃私共は自分の身の回りの事にのみ関心を持ち、自分中心にしか物事を考えないで、そのことを当たり前に思っているのではないのでしょうか？そういった私共の在り方が本当にそれでいいのかという問いかけをして下さったのが親鸞聖人でありましょう。そして、その生涯を通してその問いに対する答えを求め、その答えを教えとして私共に示して下さいましたが故にその方の遠忌を勤めるのでありましょう。しかしながらその教えは「聞」によってのみ成就する教えであります。

